

区長と学校長・PTA役員等との意見交換会結果概要

【実施スケジュール】（平成 25 年）

日 時	時 間	学 校 名
2月4日（月）	19:00~20:30	林寺小学校
2月12日（火）	13:30~15:00	北巽小学校
2月12日（火）	15:30~17:00	東中川小学校
2月14日（木）	19:00~20:30	巽小学校
2月18日（月）	18:30~20:00	中川小学校
2月19日（火）	10:00~11:30	巽東小学校
2月19日（火）	14:00~15:30	勝山小学校
2月21日（木）	10:00~11:30	北鶴橋小学校
2月22日（金）	19:00~20:30	鶴橋小学校
2月23日（土）	15:00~16:30	巽南小学校
2月23日（土）	17:30~19:00	東桃谷小学校
2月25日（月）	10:00~11:30	御幸森小学校
2月25日（月）	13:30~15:00	小路小学校
2月25日（月）	15:30~17:00	東小路小学校
2月27日（水）	10:00~11:30	西生野小学校
2月27日（水）	19:00~20:30	生野南小学校
2月28日（木）	18:00~19:30	舍利寺小学校
3月7日（木）	15:00~16:30	大池中学校
3月25日（月）	19:00~20:30	巽中学校
3月27日（水）	18:30~20:00	勝山中学校
3月30日（土）	14:00~15:30	田島小学校
4月11日（木）	19:00~20:30	田島中学校
4月16日（火）	18:30~20:00	新生野中学校
4月19日（金）	19:00~20:30	鶴橋中学校
4月22日（月）	19:00~20:30	東生野中学校
4月24日（水）	9:30~11:00	新巽中学校
4月25日（木）	18:00~19:30	生野小学校
4月25日（木）	19:30~21:00	生野中学校

【主なご意見】

通学区域に関するもの

- ・通学区域は保護者の最大の関心事。
- ・通学地域が広範化したり分散化すれば、緊急時の下校等の対応に課題が生じる。
- ・1つの小学校から2つの中学校へ進学していたり、校区外に学校があるなど中学校の立地や進学について課題がある。
- ・片側2車線以上の大通りは信号機や歩道橋が設置されているので比較的安全だが、大通りの抜け道になっている裏通りの方が危険なこともある。

学校適正配置に関するもの

- ・教育上、(最低限)クラス替えが可能な児童生徒数は必要との認識が大半。
- ・学校選択制よりも先に取り組むべき課題ではないのか。
- ・学校がなくなれば、もっと地域が衰退するのではないかという懸念。

学校選択制に関するもの

- ・公立学校に求めることは、学力の向上よりも、子どもが楽しく学校生活を送ることが一番。
- ・学校を選ぶ基準として、施設の新旧や運動場の広さ、小学校では通学距離、中学校では部活動や学校環境、学力があげられる。
- ・一度通学して馴染めば他校に行こうとは思わない。
- ・学校規模や設備が違うことで部活動の有無にも影響するというのは公平ではない。
- ・地域外からの子どもが増えれば、地域と学校が協力して実施している地域行事の経費負担などの課題が生じる。また、学校への地域の協力が得にくくなるのではないか。
- ・選択制が導入されればPTAの運営もさらに難しくなることは確実。
- ・選択制によって民族学級の取組が後退することは容認し難い。
- ・民族学級の取組は選択の判断基準に成り得るのではないか。
- ・まず中学校の配置の見直しが先決ではないか。
- ・風評に対する懸念と対策の必要性を感じる。
- ・学力テストの結果は一面的な情報でしかないにもかかわらず、公表することは与える印象が大きすぎる。

障がいのある児童生徒への対応に関するもの（特別支援学級）

- ・障がいのある子どもも平等に学校を選ぶ権利を保障する必要がある。
- ・通常のスケジュールよりも早い時期から保護者と学校が相談できるようにする必要がある。

まちづくり等に関するもの

- ・ まちに人を呼び込む施策が必要。
- ・ 魅力あるまちづくりを考えるとときに学校の存在は大きい。
- ・ 学校の特色は地域の特色、地域の特色は学校の特色である。

その他

- ・ 保護者や学校や地域よりも子ども本位の制度でなくてはならない。
- ・ 生野区内でも、校下（地域）によって考え方が大きく異なる（区の特色）。
- ・ 大阪都など近い将来に予想される動きの中で、制度が頻繁に変更され、子どもや住民が振り回されないか不安。
- ・ 学校の空き教室を保育施設として活用できないのか。
- ・ 境界域住民からは、他区（市）へ、他区（市）から当区への通学需要もある。
- ・ 情報が少なすぎて、制度の善し悪しの判断は不可能。
- ・ 今後も、頻繁に意見交換や制度説明を行って欲しい。
- ・ 地域の声を直接行政に話せる機会を増やしてほしい。

